

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、下記の検査項目におきまして、定期的な見直しに伴い、検査受託内容の一部を変更させて頂きたくご案内いたします。

誠に勝手ではございますが、弊社事情をご賢察のうえご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

変更項目

- シアリル Tn 抗原 (STN)
- ジアゼパム
- ピルメノール
- 染色体 G-Banding
- フィブリン・フィブリノゲン分解産物 (血漿 FDP)
- D ダイマー
- ループスアンチコアグラント (LA)
- 活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)
- 抗酸菌薬剤感受性検査
- サイトメガロウイルスpp65抗原定性 (C10、C11)
CMV (C10、C11)

変更期日

※詳細につきましては、裏面以降の内容をご参照ください。



保健科学グループ

保健科学研究所	〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106	TEL. 045-333-1661
保健科学東日本	〒365-8585 埼玉県鴻巣市天神3-673	TEL. 048-543-4000
保健科学西日本	〒612-8486 京都府京都市伏見区羽束師古川町328	TEL. 075-933-6060

変更項目および変更内容

▼2024年3月30日(土)受託分より変更

項目コード	検査項目 (グループコード)	変更内容	新	現	変更理由	総合検査 案内 掲載頁	備考
3723	シアリル Tn 抗原 (STN) (4447)	所要 日数	3~6日	4~7日	委託先の 定期的な見直し のため	42	*4
3522	ジアゼパム (5670)		4~7日	4~6日		104	
3948	ピルメノール (5767)		4~10日	4~7日		106	

委託先:エスアールエル(略号:*4)

▼2024年4月1日(月)受託分より変更

項目コード	検査項目 (グループコード)	変更内容	新	現	変更理由	総合検査 案内 掲載頁	備考
1900	染色体 G-Banding (7291)	報告 内容	分析詳細として「染色体数」・「カウントした細胞数」・「分析した細胞数」・「カリオタイプを作成した細胞数」を追加	-	委託先の 定期的な見直し のため	121	*4
2013	フィブリン・ フィブリノゲン 分解産物 (血漿 FDP) (2034)	基準値 ・単位	5.0 以下 $\mu\text{g/mL}$	5.0 未満 $\mu\text{g/mL}$	試薬変更 のため	100	
		報告 範囲	2.5 以下 ~ 900.0 以上	2.5 未満 ~ 320.0 以上			
2559	D ダイマー (2049)	基準値 ・単位	1.0 以下 $\mu\text{g/mL}$	1.0 未満 $\mu\text{g/mL}$			
		報告 範囲	0.5 以下 ~ 800.0 以上	0.5 未満 ~ 200.0 以上			
2020	活性化部分 トロンボプラスチン 時間 (APTT) (2030)	基準値 ・単位	24.0~34.0 秒	26.5~37.2 秒	試薬変更 のため	98	
		報告 範囲	21.0 以下 ~ 200.0 以上	15.0 未満 ~ 250.0 以上			
4078	ループスアンチ コアグラント (LA) (2091)	基準値	1.2 未満(-) 1.2 以上 1.3 未満(+) 1.3 以上(+)	1.1 未満(-) 1.1 以上 1.3 未満(+) 1.3 以上(+)	試薬変更 のため	66	*A
		報告 範囲	0.50 以下 ~ 9.60 以上	0.06 以下 ~ 16.00 以上			

委託先:エスアールエル(略号:*4)、保健科学総合研究所(略号:*A)

▼2024年4月1日(月)受託分より変更

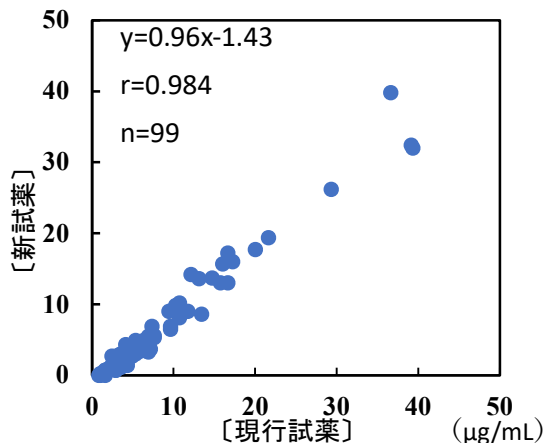
項目コード	検査項目 (グループコード)	変更内容	新	現	変更理由	総合検査案内 掲載頁	備考
-	抗酸菌薬剤感受性 検査 (8054)	報告 薬剤数 (備考)	指定に関わらず全9薬剤での報告※1	以下の薬剤より指定(薬剤指定がない場合は、9剤について検査) ①SM②INH ③RFP④EB ⑤KM⑥EVM ⑦TH⑧CS ⑨PAS	定期的な見直しのため	139	
4586	サイトメガロウイルス pp65抗原定性 (C10、C11) CMV(C10、C11) (7714)	検査 場所	エスアール エル (略号:*4)	保健科学第二 ラボラトリー (略号:*ア)		92	

※1 SM、INH、RFP、EB、KM、EVM、TH、CS、PAS についての検査を行います。

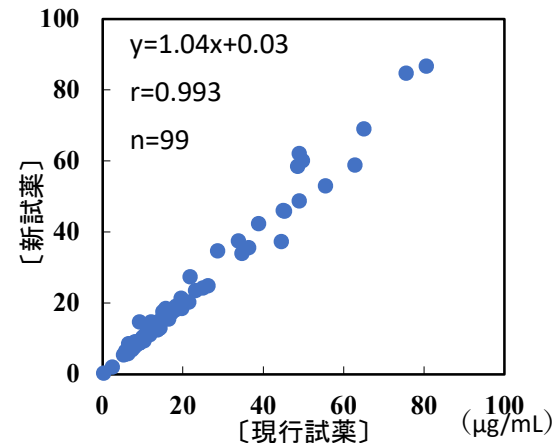
報告薬剤数変更に伴う実施料の変更はございません。

▼新試薬と旧試薬の比較

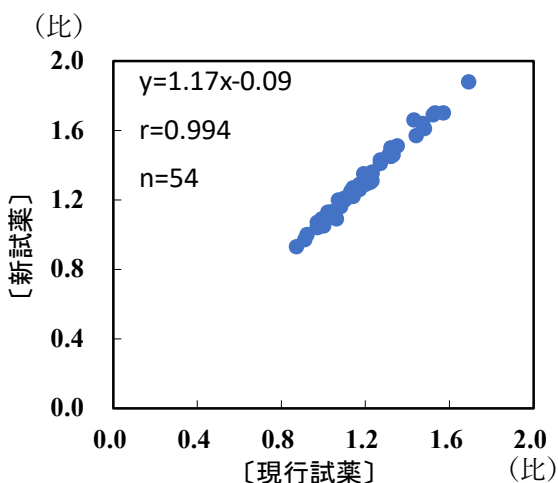
〔フィブリン・フィブリノゲン分解産物(血漿 FDP)〕
($\mu\text{g/mL}$)



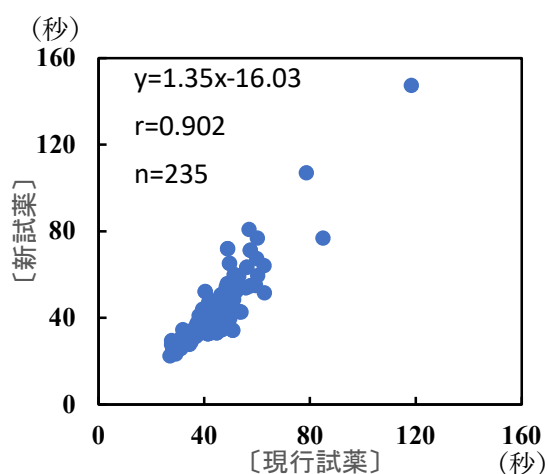
〔D ダイマー〕
($\mu\text{g/mL}$)



〔ループスアンチコアグラント(LA)〕



〔活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)〕



▼検査方法参考文献

- ・池田千秋, 他 : フィブリノゲン分解産物への反応性を改善した新規血漿 FDP 試薬「リアスオート P-FDP」の評価, *Sysmex Journal Web*, 15(2), 1-8, 2014.
- ・上村三奈, 他 : リアスオート・D ダイマー ネオ試薬におけるワイドレンジ化の検討, *Sysmex Journal Web*, 15(2), 1-7, 2014.
- ・下村大樹, 他 : 新規開発の LA 試薬 DRVVT の基礎的性能評価, *Sysmex Journal Web* 23(3), 51-61, 2022.
- ・山崎あずさ, 他 : 全自動血液凝固測定装置 CS-5100 を用いた活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT) 測定試薬「レボヘム APTT SLA」の基礎的性能評価およびループスアンチコアグラント感受性に着目した相関乖離検体の解析, *医療検査と自動化*, Vol. 46 No.3, 208-214, 2021.